



一人一人が安心して自分のよさを発揮できる学校

武蔵野小だより



無症状でも自分や家族が感染しているかも…という意識で。(ユニバーサル・マスクング)

令和3年10月1日発行

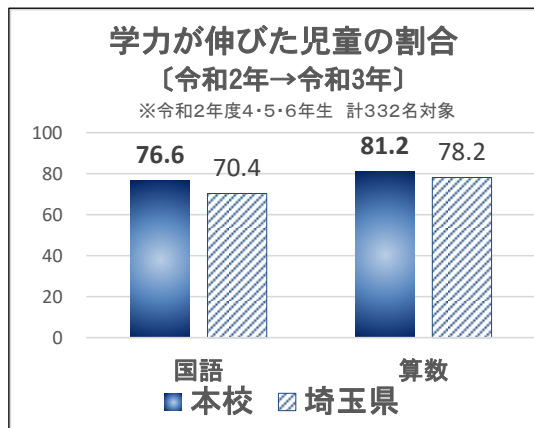
学ぼうとする力の育成に向けて

秋の気配も次第に濃くなり、過ごしやすい季節となってまいりました。何事にも取り組みやすいこの時季、感染症には留意しながらも、授業や学校行事での子どもたちの活躍に、教職員一同期待を寄せているところです。

さて、夏季休業中には、埼玉県学力・学習状況調査の結果が出されました。毎年度、4年生以上で実施されており、従来の学力調査の目的に加え、一人一人の伸びが把握できる全国的にも注目されている調査です。

学校全体としては、国語・算数ともに実施全学年で県の伸び率を上回りました。特に、昨年度課題であった算数は8割以上の子どもに伸びが見られました。本校では「子どもたちがつくり上げる授業」を目指し、思考力や表現力の育成を一貫して進めてまいりました。また、よりよい指導方法を求め、TT(チーム・ティーチング)やコース選択学習にも力を注いできただけに、嬉しい結果となりました。

子どもの力が伸びる時期は皆違います。一人一人が自分の伸びを認識し、更なる向上に向かうように、また、今回は力が発揮できなかった子どもにも来年度に向け前向きに再挑戦できるように、今後も継続して支援したいと思います。



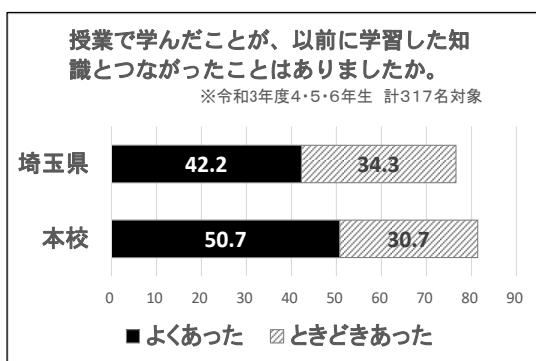
埼玉県学力・学習状況調査結果より

学習効果を高めるために

調査結果の中に興味深いデータが見られました。それは子どもたちの「学習内容の関連付け」に関する意識が高いことです。本校では学校研究を通して、以前の学習を想起しそれを積極的に活用する学び方を重視してきました。今回、一定の学習効果が確認できたので、他の教育活動にも広げていきたいと考えています。

激変する社会の中で、新しい知識や情報は常に更新され増え続けることが予測されます。その中を生き抜く子どもたちには、幅広い知識とともに、学んだことを自ら使いこなす力、未知の問題解決に活用できる力がますます重要になると考えます。

今回の学力調査結果を踏まえ、本校では今後も学習指導について不断の改善を進めます。また、子どもたちの努力や頑張りを認め、各ご家庭と共に学ぼうとする力の育成を図ってまいりますので、ご協力をお願いいたします。



同調査の児童質問紙調査より

ほめて認めて、叱って諭し、また、ほめて伸ばす